

# 天然木工芸突板 ALPILIGNUM とは

資料提供：泰斗株式会社

アルピリニウム（天然木工芸突板）は、イタリア・アルピ社で生産される、いわゆる「人工突板」と呼ばれるもので、アユースやポプラ等の天然木を原料とし「工芸的に」作り上げられた内装化粧用突板です。高度な技術で加工することで、多種多様な樹種の表現が可能です。

- 原料木のアユースは特定の場所からの伐採量が同じ場所での再生産量を超えないよう管理し、環境を破壊することなく、資源利用を持続させています。
- 色・柄の再現性が高く、季節を問わず年間を通じて、継続的に安定した供給が可能です。

ALPILIGNUM の原料となる「木」

- アユース（カメルーン）※
- ポプラ（イタリア）
- バスウッド（東欧）

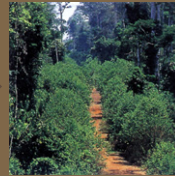
※アユース（Ayous, アオギリ科）  
比重 0.32～0.55 径 1m20cm  
散孔材 白っぽくきれいな表情  
樹高 40m に達する大高木




アユースの原木



伐採直後



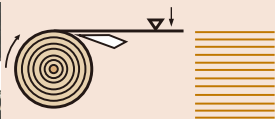
3ヶ月後



8ヶ月後

(\*上の写真は伐採直後から8ヶ月後までの様子を同じ場所で撮影したものです。)

1. ロータリースライサーで単板を  
スライスし、定尺にカット  
(厚さ 0.75～1.0mm)

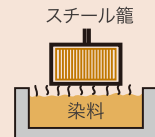


2. 原料単板の検査、選別



★端材は、完全にリサイクルし、  
環境に配慮

3. 原料の脱色、染色

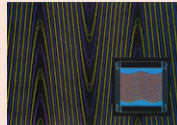


4. 染色単板の検査、補修



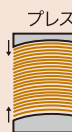
★傷や抜けは、丁寧に  
一枚ずつ補修

5. 染色単板の組合せ

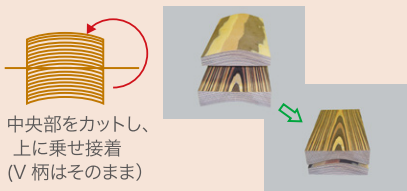


★コンピューターによる組合せ  
(色・柄の構成)

6. 糊付け、積層、プレス



7. フリッチ製作



中央部をカットし、  
上に乗せ接着  
(V 柄はそのまま)

8. スライサー、検査、出荷

